

都市再生整備計画 事後評価書

平成30年 3月30日

地区の名称	北寺尾・獅子ヶ谷周辺地区				
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)	交付の期間	平成24年度～平成26年度(3年間)	交付対象	横浜市
計画の目標					

地区内の限られた緑地や歴史的建造物等の地域資源を最大限に活用しながら、自然環境を楽しみ、体験、学習、交流するための空間を保全・創造するとともに、地域の環境アメニティの向上、レクリエーションの場の創出を図ることで、地域の活性化を促進する。また、これら貴重な環境資源の保全に努め、豊かな緑を次世代に継承し、身近に自然とふれあえ、潤いを感じられる生活環境を守る。

計画の成果目標(定量的指標)

緑地保全制度に指定することにより、緑の減少に歯止めをかけ、環境資源を保全する。(45.2ha→49.5ha)
 既存の公園を拡張整備することで、明るく利用しやすい環境を創り出し、活発な市民交流の通じ地域の活性化を図る。(41,685人/年→42,101人/年)
 港北図書館・菊名地区センターの耐震等工事による、施設利用者の安全・利便性を評価する。(満足・まあ満足 0%→50%)

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

① 樹林地の保全面積

当初現況値 (H23当初) 45.2ha 中間目標値 最終目標値 (H28末) 49.5ha

② 馬場花木園 来園者数

(H22当初) 41,685人/年 (H27末) 42,101人/年

③ 図書館・地区センター利用者の安全・利便性の満足度

(H24当初) 満足・まあ満足(0%) (H27末) 満足・まあ満足(50%)

全体事業費

合計 (A+B+C)

2,408

A

2,408

B

-

C

-

効果促進事業費の割合
 A(提案分)+C / (A+B+C)

9.4%

事後評価(中間評価)

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期

事後評価(中間評価)の実施体制

事後評価の実施時期

事後評価：平成28年度末時点

評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施しました。

公表の方法

横浜市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基盤事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
12-A-6	公園	一般	横浜市	直接	横浜市	馬場花木園整備事業	実施設計、耐震改修工事等	横浜市						184	(全体事業費未確定)
12-A-6	公園	一般	横浜市	直接	横浜市	二ツ池公園整備事業	地質調査、実施調査委託等	横浜市						19	地域自主戦略交付金含む
12-A-6	地域生活基盤	一般	横浜市	直接	横浜市	駒岡・梶山緑地整備事業	緑地 0.12ha	横浜市						30	
12-A-6	地域生活基盤	一般	横浜市	直接	横浜市	馬場四丁目緑地整備事業	緑地 0.76ha	横浜市						786	
12-A-6	地域生活基盤	一般	横浜市	直接	横浜市	北寺尾緑地整備事業	緑地 0.96ha	横浜市						532	
12-A-6	地域生活基盤	一般	横浜市	直接	横浜市	獅子ヶ谷・師岡緑地整備事業	緑地 1.52ha	横浜市						296	
12-A-6	地域生活基盤	一般	横浜市	直接	横浜市	東寺尾緑地整備事業	緑地 0.19ha 樹林一部工事、施設整備工	横浜市						197	
12-A-6	地域生活基盤	一般	横浜市	直接	横浜市	熊野神社整備事業	緑地 6.56ha、舗装工事等	横浜市						137	
12-A-6	地域創造支援事業	一般	横浜市	直接	横浜市	港北図書館・菊名地区センター	耐震工事地上3階 鉄筋コンクリート造延床面積3,478㎡	横浜市						227	提案分
合計													2,408		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

緑地整備事業の進捗により、市街地における緑地の保全が進んだ。
馬場花木園整備事業については、拡張予定地について引き続き防災・安全交付金事業の都市公園事業として整備をし、その後拡張部分を公開するため、平成29年度末時点において効果は発現していない。

II 定量的指標の達成状況

指標①（樹林地の
保全面積）

最終目標値

49.5ha

目標値と実績値
に差が出た要因

緑地保全制度等により指定された樹林地の面積が想定以上のため。

最終実績値

56.4ha

指標②（馬場花
木園来園者数）

最終目標値

42,101人/年

目標値と実績値
に差が出た要因

最終実績値

-

指標③（図書
館・地区セン
ター利用者の安
全・利便性の満
足度

最終目標値

満足・まあ満足（50%）

目標値と実績値
に差が出た要因

耐震工事にあわせて、授乳室の新設などのリフォームを実施したため。

最終実績値

満足・まあ満足（100%）

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

・緑地保全制度による指定が進んだことで、貯留・涵養機能や生物多様性、防災・減災など、樹林地が持つ多様な機能が高まった。
・東寺尾緑地（東寺尾ふれあいの樹林）、獅子ヶ谷・師岡緑地（獅子ヶ谷市民の森）について、市民と協働で良好な森を育成するための取組などにより、活動団体の関わりが広がり、深まった。

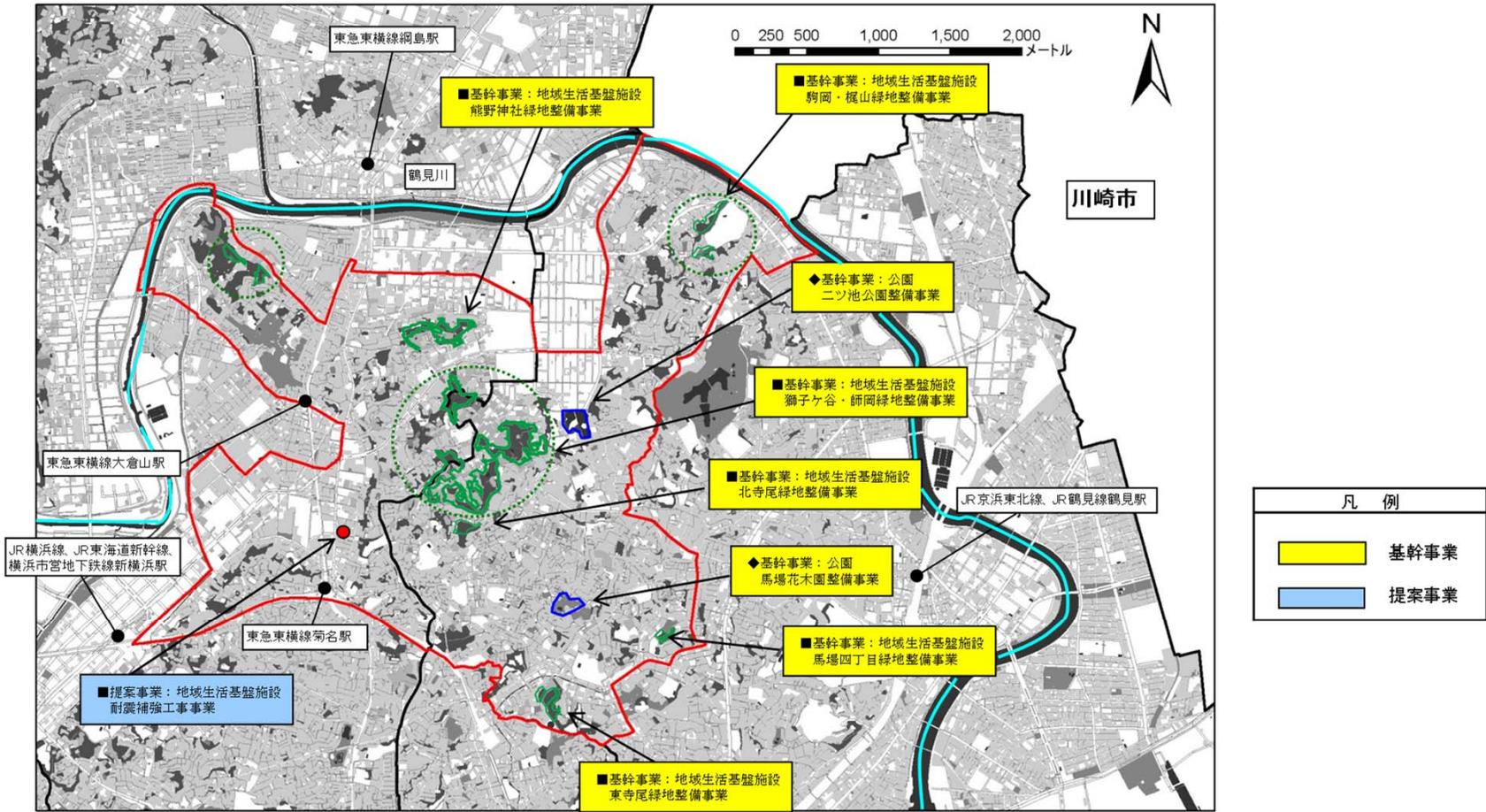
3. 学識経験者の意見

- ・馬場花木園の早期整備を進めてください。
- ・引き続き、樹林地の保全を着実に進めてください。

4. 特記事項（今後の方針等）

②については、馬場花木園拡張部分工事中のため評価できません。引き続き防災・安全交付金事業の都市公園事業で事業を推進し、事業の早期完成を目指します。今後のまちづくりの方策について 東寺尾緑地（東寺尾ふれあいの樹林）、について、市民の森に携わる様々な立場の人（利用者や土地所有者、森づくり活動をする人、行政など）や森の生き物、地域の文化や伝統なども生かしながら、目標となる森の姿を考え、具体的な管理の計画を定める「保安全管理計画」を策定しました。 今後は樹林地の質を維持・向上させ、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進し、また、森と市民とをつなげる取り組みの推進していきます。

計画の名称	6 北寺尾・獅子ヶ谷周辺地区 都市再生整備計画		
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)	交付対象	横浜市

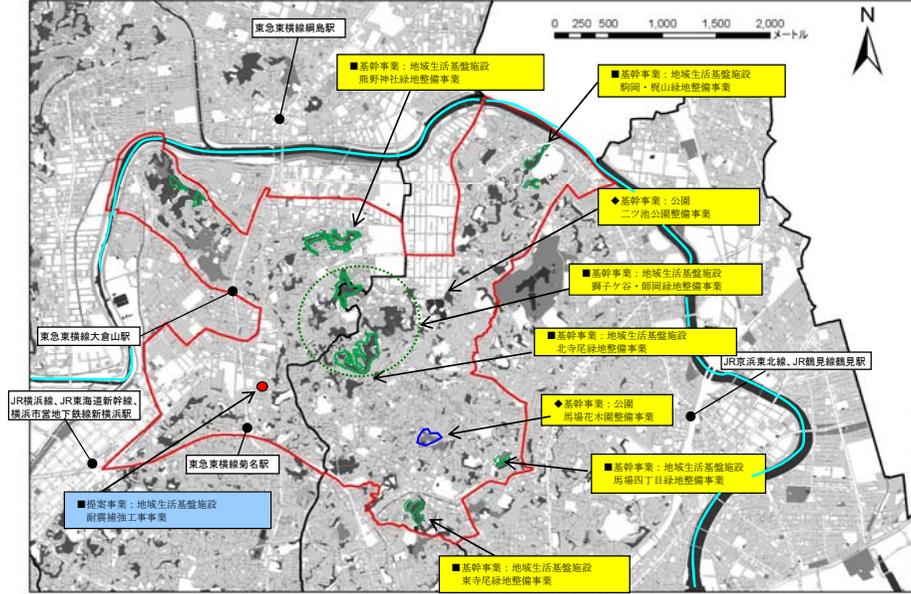


様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	北寺尾・獅子ヶ谷周辺地区	面積	943ha
交付期間	平成24年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	2,222百万円 国費率 0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名												
		基幹事業	【公園】馬場花木園整備事業、ニッ池公園整備事業 【地域生活基盤施設】駒岡・梶山緑地整備事業、馬場一丁目緑地整備事業、馬場二丁目緑地整備事業、馬場四丁目緑地整備事業、北寺尾緑地整備事業、獅子ヶ谷・師岡緑地整備事業、東寺尾緑地整備事業、大曾根台緑地整備事業、篠原城址緑地整備事業、熊野神社緑地整備事業、大倉山緑地整備事業												
	提案事業	なし													
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】馬場一丁目緑地整備事業、馬場二丁目緑地整備事業、大曾根台緑地整備事業、篠原城址緑地整備事業、大倉山緑地整備事業		削除/追加の理由			地権者との用地交渉が難航し、期間内の実施が困難になったため			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	なし												
	新たに追加した事業	基幹事業	なし												
		提案事業	【地域創造支援事業】耐震補強工事(港北図書館・菊名地区センター)		整備計画エリア内の学習する場の拠点整備事業として追加			新たに「図書館・地区センター利用者の安全・利便の満足度」を追加							
	交付期間の変更	当初	平成24年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		緑地整備事業については平成27年度から社会資本総合整備計画への移行したが、目標値への影響はない。								
		変更	平成24年度～平成26年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	指標1	樹林地の保全面積	単位	ha	基準年度	H23当初	目標年度	H28末	モニタリング	評価値	56.4	○	あり なし	緑地保全制度等により指定された樹林地の買入申込面積が想定以上のため。	-
	指標2	馬場花木園 来園者数	人/年	41,685	H22当初	42,101	H28末		42,000	△	あり なし	●	馬場花木園整備事業については、拡張予定地について平成29年度(都市再生整備計画事業繰越分)～平成30年度に公園として整備をし、その後拡張部分を公開することとなるため、来園者数は増える見込み。		
	指標3	図書館・地区センター利用者の安全・利便性の満足度	%	満足・まあ満足(0%)	H24当初	満足・まあ満足(50%)	H27末		満足・まあ満足(100%)	○	あり なし		耐震工事にあわせて、授乳室の新設などのリフォームを実施したため。	-	
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 緑地保全制度による指定が進んだことで、貯留・涵養機能や生物多様性、防災・減災など、樹林地が持つ多様な機能が保全された。 東寺尾緑地(東寺尾ふれあいの樹林)、獅子ヶ谷・師岡緑地(獅子ヶ谷市民の森)について、市民と協働で良好な森を育成するための取組などにより、市民の森への関わりが広がり、深まった。 														

様式2-2 地区の概要

北寺尾・獅子ヶ谷周辺地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
地区内の限られた緑地や歴史的建造物等の地域資源を最大限に活用しながら、自然環境を楽しみ、体験、学習、交流するための空間を保全・創造するとともに、地域の環境アメニティの向上、レクリエーションの場の創出を図ることで、地域の活性化を促進する。 また、これら貴重な環境資源の保全に努め、豊かな緑を次世代に継承し、身近に自然とふれあえ、潤いを感じられる生活環境を守る。		樹林地の保全面積	単位:ha	45.2 H23	49.5 H28	56.4 H28
		馬場花木園 来園者数	単位:人/年	41,685 H22	42,101 H28	馬場花木園の拡張工事のため評価できません
		図書館・地区センター利用者の安全・利便の満足度	単位:%	満足・まあ満足(0) H24	満足・まあ満足(50) H27	満足・まあ満足(100) H29
						
						
まちの課題の変化		課題1: 貴重な緑の保全に努め、豊かな緑を次世代に継承していく必要がある。→緑地保全制度等により指定された樹林地の買入申込面積が増えた。 課題2: 市民が自然環境を楽しみ、体験、学習、交流するための拠点整備が必要→東寺尾緑地(東寺尾ふれあいの樹林)、獅子ヶ谷・師岡緑地(獅子ヶ谷市民の森)について、市民と協働で良好な森を育成するための取組などにより、市民の森への関わりが広がり、深まった。また、市民の森、ふれあい樹林のガイドマップを作成して、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを行った。 課題3: 拠点整備やイベント等の開催による来訪者の増加等地域の活性化が求められている。→森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関するイベントや講座の開催などにより、市民が森に関わるきっかけを提供した。 課題4: 耐震補強工事が必要な施設の耐震化が求められている。→耐震工事を実施した。				
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		東寺尾緑地(東寺尾ふれあいの樹林)、について、市民の森に携わる様々な立場の人(利用者や土地所有者、森づくり活動をする人、行政など)や森の生き物、地域の文化や伝統なども生かしながら、目標となる森の姿を考え、具体的な管理の計画を定める「保安全管理計画」を策定しました。 今後は樹林地の質を維持・向上させ、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進し、また、森と市民とをつなげる取り組みの推進していきます。 馬場花木園整備事業については引き続き防災・安全交付金事業の都市公園事業で事業を推進し、事業の早期完成を目指します。				